

第2 農業生産基盤の整備開発計画

1 農業生産基盤の整備及び開発の方向

本地域の農業は、各種施策の積極的な導入により農業経営の大型化・近代化を進めるとともに、生産性の向上や土地基盤整備を進めてきており、今後も、農用地の生産性の向上や農作物の品質向上に向けて、農地の排水対策や区画整理、農道の整備や農業水利施設等の整備により、良好な営農条件を備えた農地の確保を図る。

また、自給飼料基盤に立脚した畜産経営の推進するため、起伏修正や排水改良、草地造成等の整備を行うことにより、大型機械化体系に対応した効率的な草地への転換を図るとともに、営農用水の確保を進めるなど畜産経営の安定化を図る。

2 農業生産基盤整備開発計画

事業の種類	事業の概要	受益の範囲		対図番号	備考
		受益地区	受益面積(ha)		
草地整備	草地整備 260ha、草地造成 20ha	A-1, A-2 A-3, A-4	280.0	1	
農道整備	農道改良 3,000m	A-3	450.0	2	
総合整備	圃場整備 20ha、用水路工 2,000m 排水路 1,000m、暗渠排水 30ha 土層改良 20ha	A-1, A-2, A-3 A-4, B-1	300.0	3	

3 森林の整備その他林業の振興との関連

八雲町森林整備計画に基づき優良な森林整備を進めるとともに、森林整備計画等と農業振興地域整備計画との密接な連携により、農用地等に隣接する林道等については、農林業の振興に必要な施策として一体的に整備する。

4 他事業との関連

広域的な農業基盤の整備や開発計画、公共事業等計画は現在予定されていないが、これら事業の実施にあたっては、農業振興地域整備計画の達成に支障のないよう、適切な調整を図っていく。

第3 農用地等の保全計画

1 農用地等の保全の方向

戸別所得補償制度による農業経営の安定化に加え、人・農地プランを活用し今後予想される耕作放棄地の発生を防止するため、離農農家・規模縮小農家等の農地については、意欲ある多様な担い手への利用集積とその効率的な利用を促進するとともに、優良農地の保全と利用を推進する。

また、ヒグマやエゾシカ等の有害鳥獣による農業被害を防止するため、各種対策を推進する。

2 農用地等保全整備計画

事業の種類	事業の概要	受益の範囲		対図番号	備考
		受益地区	受益面積(ha)		
総合整備	圃場整備 20ha、用水路工 2,000m 排水路 1,000m、暗渠排水 30ha 土層改良 20ha	A-1, A-2, A-3 A-4, B-1	300.0	3	

3 農用地等の保全のための活動

地域における農地の利用調整活動をはじめ、担い手の育成・確保に向けた諸活動に対し支援するため、農地保有合理化事業や人・農地プランなど農業経営基盤強化事業等の各種事業の積極的かつ効果的な活用等を通じて優良農地の遊休化を未然に防止しつつ、離農・規模縮小農家等の農地を意欲ある多様な担い手や地域の中核となる経営体へ円滑に利用集積し、その効率的な利用を促進する。

また、中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境保全向上対策を活用し、草刈り、用排水路及び農道等の適正な維持管理を支援することにより、農用地等の機能低下及び耕作放棄を防止するとともに、戸別所得補償制度により農業経営の安定化を図り、農地の効率的利用を推進して行く。

4 森林の整備その他林業の振興との関連

八雲町森林整備計画等と農業振興地域整備計画との密接な連携の下、農用地等の適切な保全を図る。